

回覧		リニア推進振興室		
吉沢	藤戸	櫻井	山崎	萩原
	(印)	(印)	ラスト	(印)

回覧者 山崎

### 松川町との打ち合わせについて（発生土活用先）

企画部リニア推進振興室

- 1 日時 平成 25 年 12 月 25 日 (水) 9 時 30 分～11 時 30 分
- 2 場所 松川町役場応接室、現地
- 3 出席者 松川町 深津町長、吉澤副町長、斉藤まちづくり政策課長、  
宮澤建設課長

JR 東海中央新幹線建設部 [REDACTED]  
 リニア推進振興室 石田リニア推進主幹、山崎担当係長

#### 4 概要

(町長)

- ・ 今日案内する箇所については地元役員からの提案で、町議会の有志による視察も行っている。
- ・ 運搬路の改修や交通安全等の対策に町民、議会の関心が高いが、具体的な情報を知らされておらず、聞かれても答えられない。
- ・ 発生土の活用先照会について、今後の予定はどのようになっているか。
- ・ 運搬路として想定される、宮ヶ瀬橋の改修もあわせてお願いしたい。

(リニア室)

- ・ 活用先に関しては現在取りまとめ中。新年に広域連合会議での了解を得た上で、3月を目途に JR 東海へ情報提供したいと考えている。
- ・ 明らかに運搬路となる松川インター大鹿線については、大鹿村、中川村を交えて対策の検討を進めている。その他の道路は活用先が決まってからの検討となる。

(JR 東海)

- ・ 必要な道路改修や交通安全対策については、原則 JR 東海の負担で実施する。

(まちづくり政策課長)

- ・ 発生土の活用は公共事業が優先か。  
→活用先までの距離にもよる (リニア室)。
- ・ 発生土に関しては県と広域連合とで同じような会議を開催しており、窓口や調整主体が分かりづらい。  
→発生土 WG は担当者の勉強会であり、最終的な判断は広域連合会議の場で各首長にお願いしたいと考えている (リニア室)。
- ・ 発生土の活用先として、国交省に天竜川の堤防補強を考えてもらいたい。

- ・ 工事にあたり、JR 東海と鉄道運輸機構の役割はどうなるのか。現地での調整は誰が行うのか。
  - 具体的な計画は未定だが、工事の一部を機構に委託する予定（JR 東海）。
  - 両者への連絡窓口は、引き続き県が務める（リニア室）。
- ・ 作業員宿舎や地元商店への配慮はどのように考えているか。
  - 山梨実験線でも、工事中は地元商店を利用するなどして配慮している。

(建設課長)

- ・ 松川インター大鹿線の利用に当たっては、小浜砂利組合とも十分協議してもらいたい。

#### ○活用先候補地について

##### ●候補地 1

- ・ 県道松川大鹿線近傍
- ・ 面積約 28ha、想定土量 575 万 $m^3$
- ・ 地元役員からの提案。地権者への説明は未。下流域住民の了解が必要
- ・ 水田の跡地。後利用の予定なし
- ・ 保安林あり。農地転用手続き必要

##### ●候補地 2

- ・ 県道松川大鹿線沿い
- ・ 面積約 4.4ha、想定土量 32 万 $m^3$
- ・ 地元役員からの提案。地権者への説明は未。
- ・ 現況は水田。後利用は未定
- ・ 保安林なし。農地転用手続き必要

##### ●候補地 3

- ・ 町道改良工事の盛土材料
- ・ 想定土量 11 万 $m^3$
- ・ 宮ヶ瀬橋のアクセス道路であり、改良工事は橋梁工事の工程による
- ・ 発生土の仮置き場が別途必要

候補地①

非公開

//

//

候補地②

非公開

//

//

3

3